

介護人材実態調査 集計結果

2022/04/01
高知県南国市

発送事業所数：53件

回収事業所数：40件

回収率：75.5%

(注1) 不正確な回答や無回答等がある場合、正確な集計結果となっていないおそれがあります。エクセルファイルに入力したデータを良くご確認ください。

(注2) グラフのレイアウト等を変更する場合は、エクセルファイル上のグラフを修正の上、このファイルに貼り直してください。

(注3) 構成比を示す表は、セルの赤色が濃いほど100%に近いことを示しています。

【介護人材実態調査】

調査の目的

- ・ 介護人材実態調査では、介護人材の①性別・年齢構成、②資格保有状況、③過去1年間の採用・離職の状況、④訪問介護サービスにおけるサービス提供の実態などを把握します。
- ・ そして、調査の結果や、調査結果に基づいた関係者間での議論を通じて、地域内の介護人材の確保・サービス提供方法の改善などにつなげていくことを目的としています。

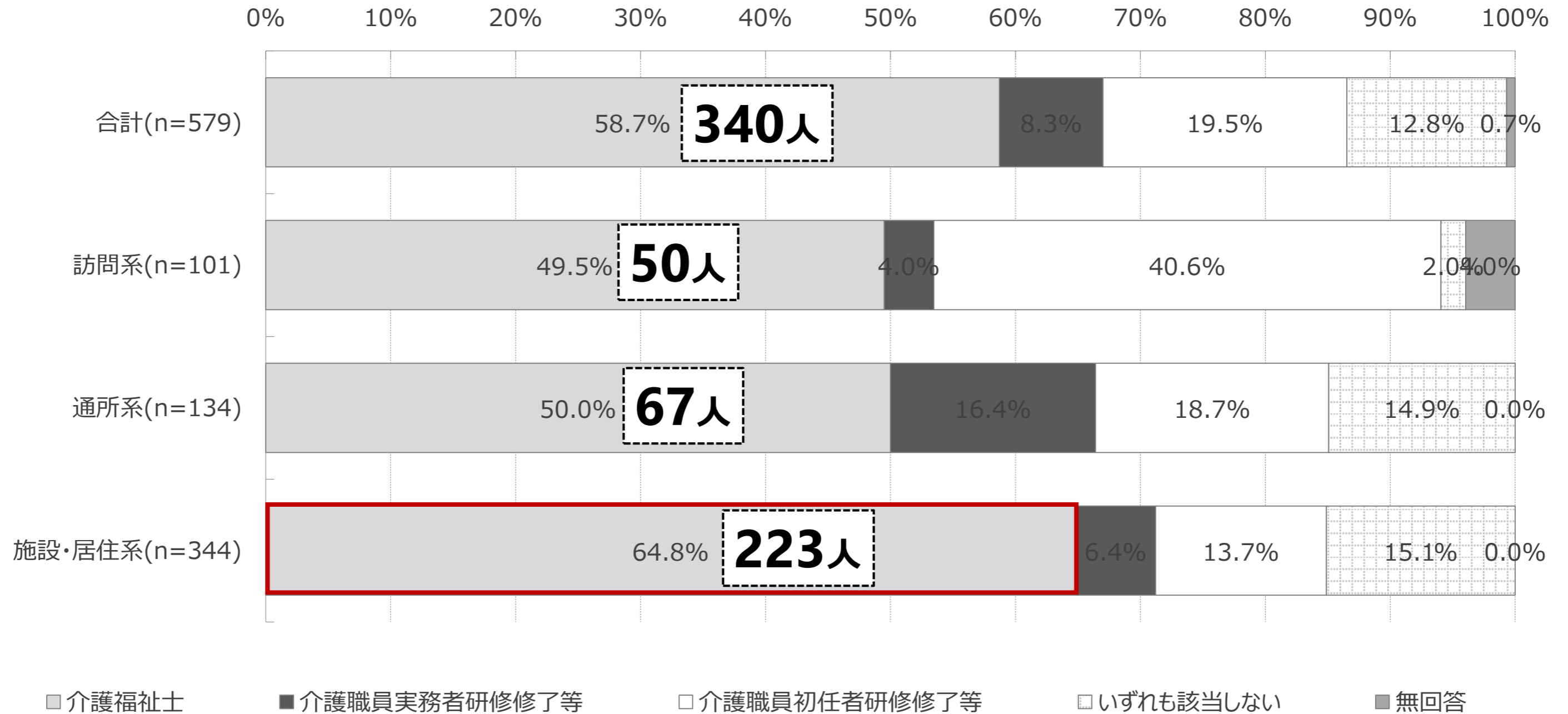
調査の概要

- ・ アンケートは、事業所、施設・居住系サービスの管理者の方などにご回答いただきます。
- ・ 調査では、各事業所等に所属する介護職員の数や、採用・離職の状況に加え、各介護職員の属性を個別にご回答いただくことで、多様なクロス集計を可能にしています。
- ・ また、訪問介護事業所については、別途に職員が回答する「職員票」を用意しています。これは、特に訪問介護について、個々の職員の身体介護・生活援助の提供状況を把握することで、サービス提供に見直しの余地がないか検討することを想定しています。
(例えば、買い物や調理・配膳などの提供を、地域のボランティア等が担うことはできないか検討するなど)

注目すべきポイント

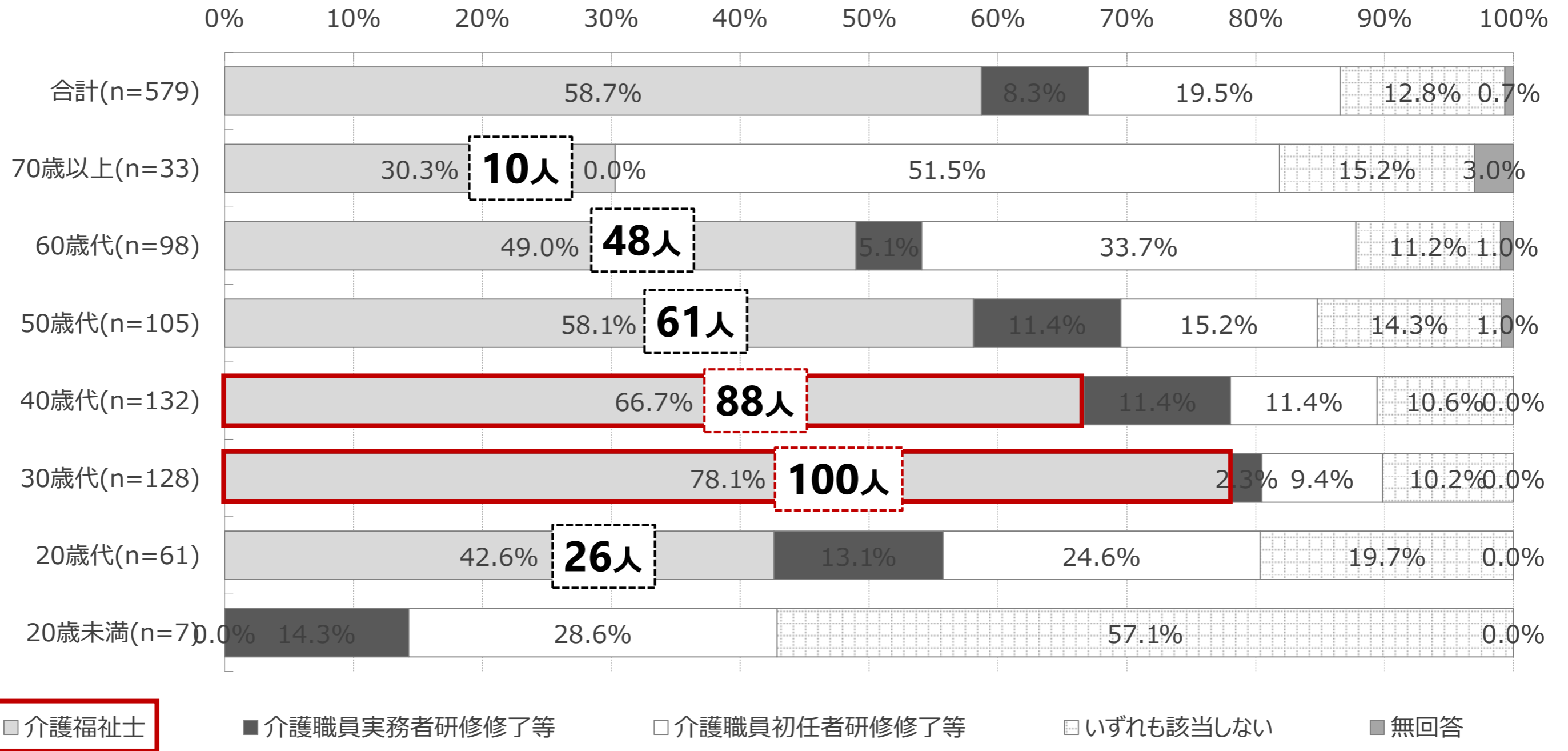
- ・ サービス系統別の、介護職員の性別・雇用形態別の年齢構成は？
(サービス系統別に大きな偏りはみられないか)
- ・ 過去1年間の、サービス系統別の採用・離職の実態は？
(要介護者数の増加に比して、介護職員数は増加しているか)
- ・ 訪問介護のサービス提供に、見直しの余地はないか？
(生活援助について、地域のボランティア等が担う余地はないか)

サービス系統別の資格保有の状況



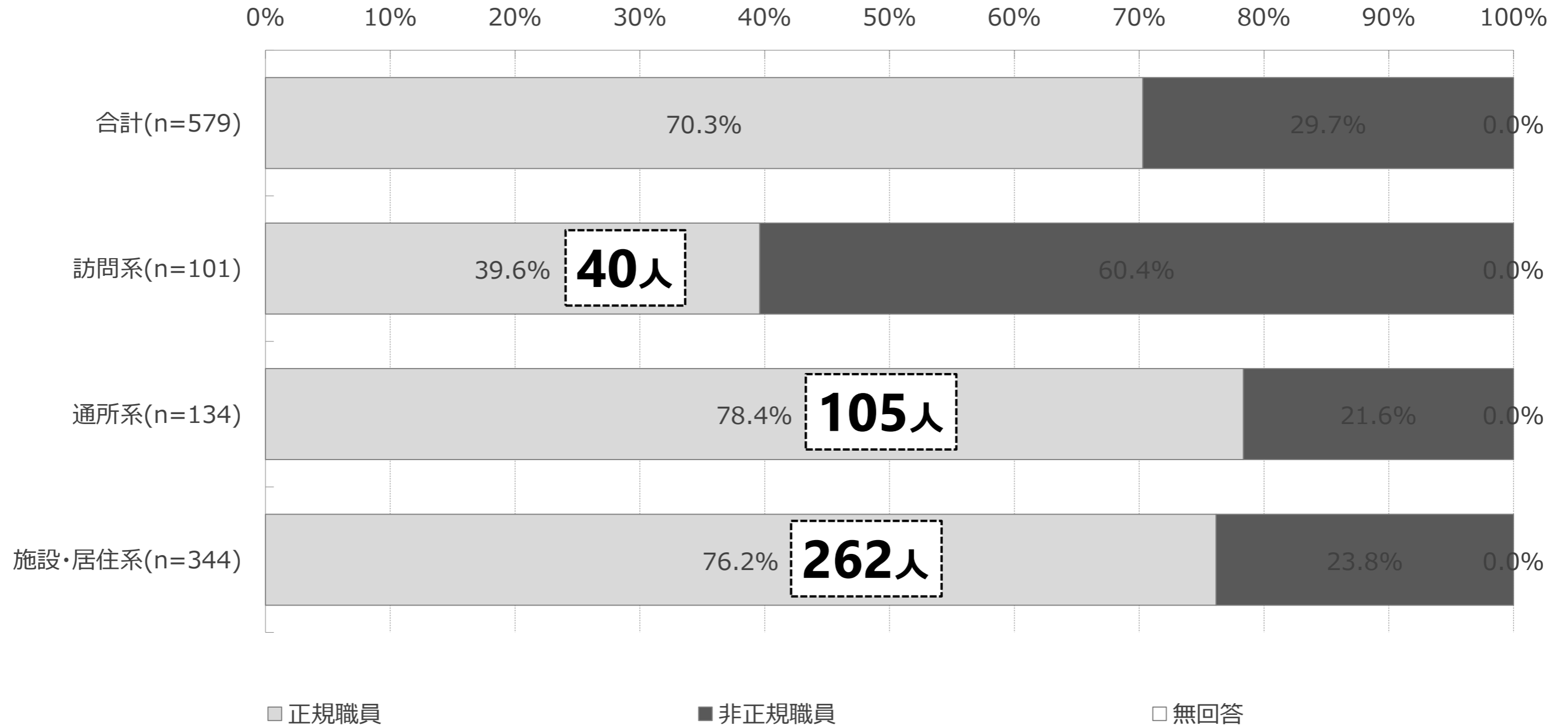
(注) 「合計」にはサービス系統不詳の方を含めています。

年齢別の資格保有の状況



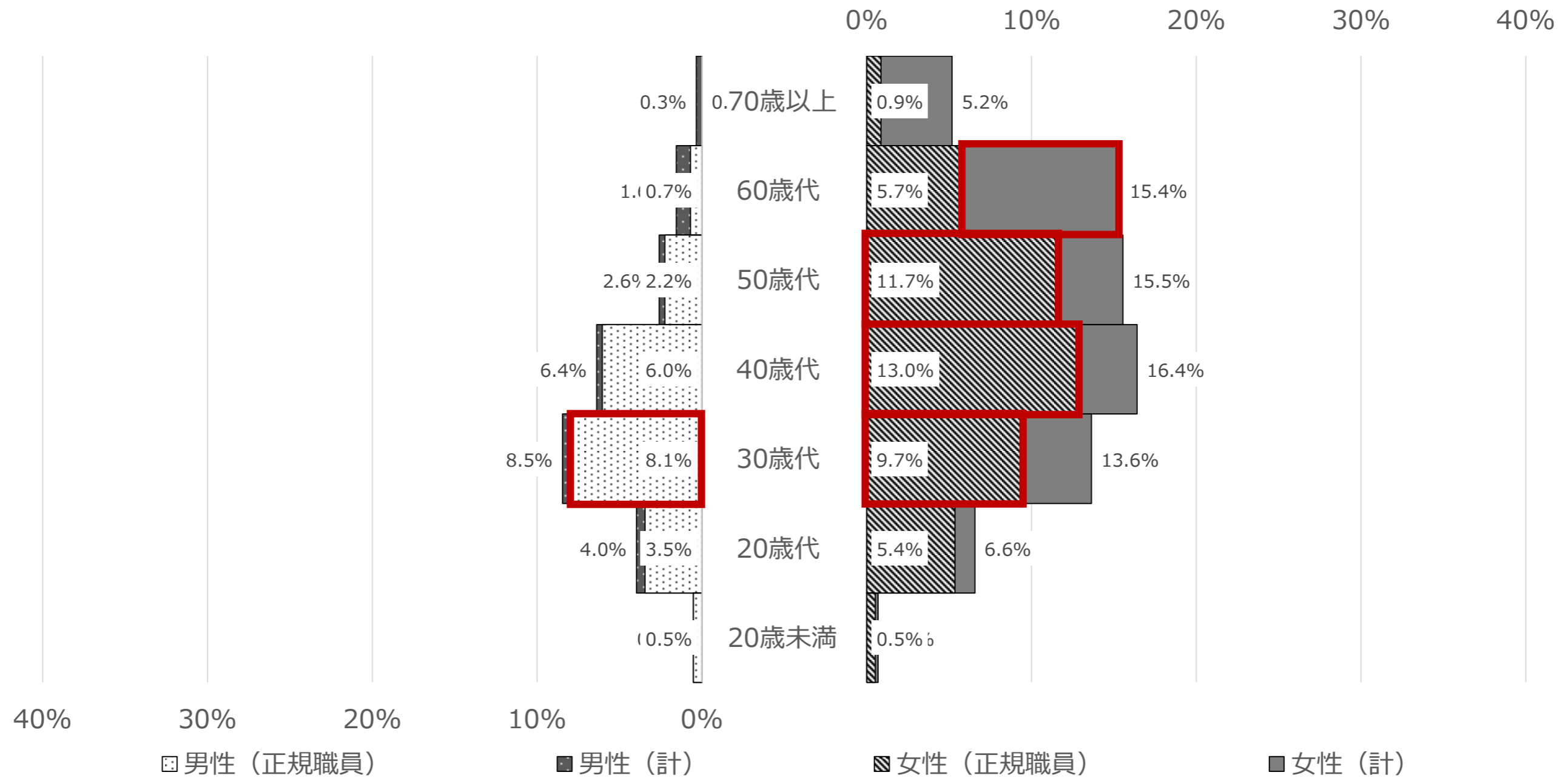
(注) 「合計」には年齢不詳の方を含めています。

サービス系統別の正規職員・非正規職員の割合



(注) 「合計」にはサービス系統不詳の方を含めています。

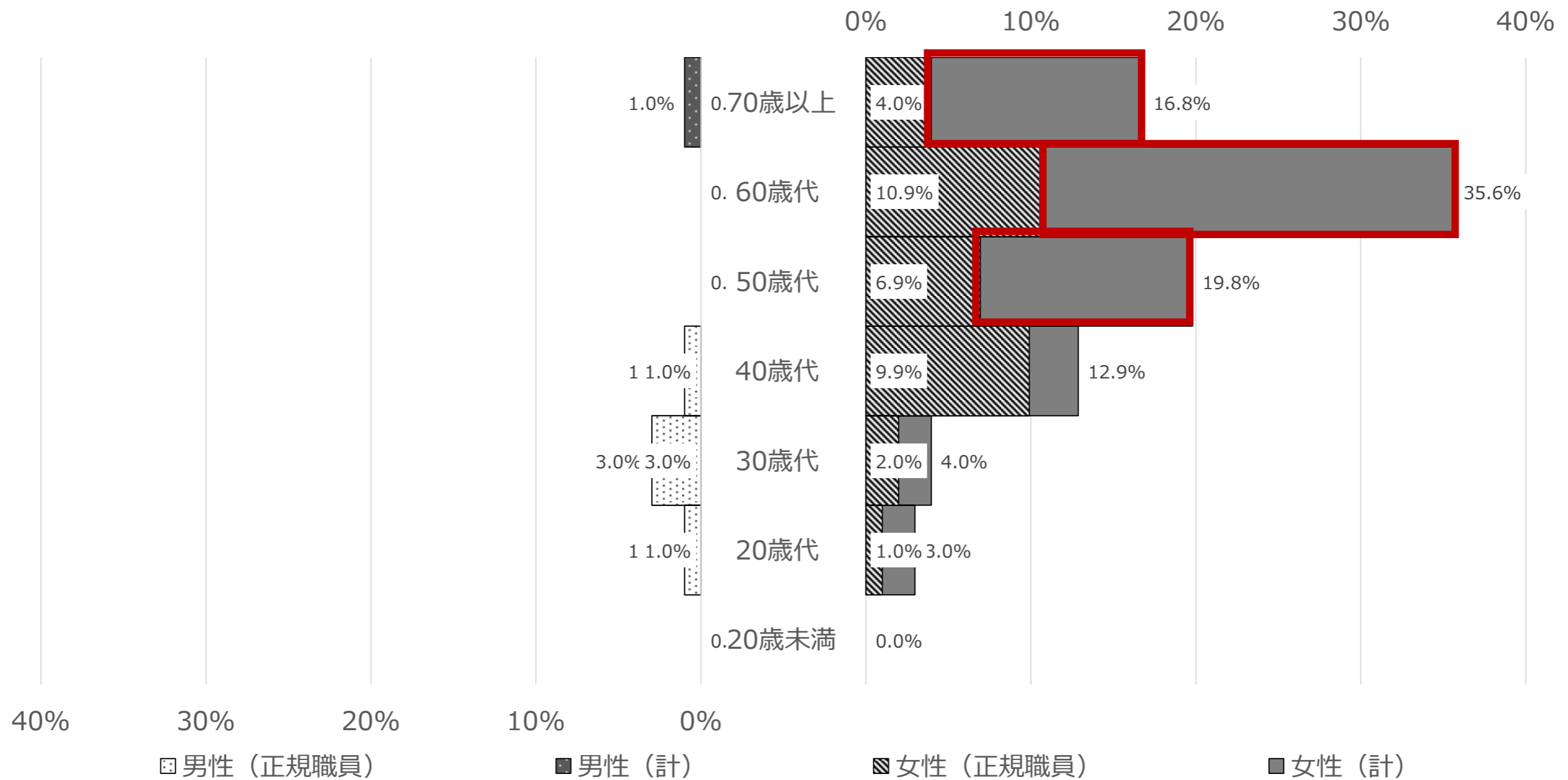
性別・年齢別の雇用形態の構成比（全サービス系統合計、n=579）



全体で見ると、30～50歳代・女性の正規、60歳代・女性の非正規、30歳代・男性が多い

(注) 分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

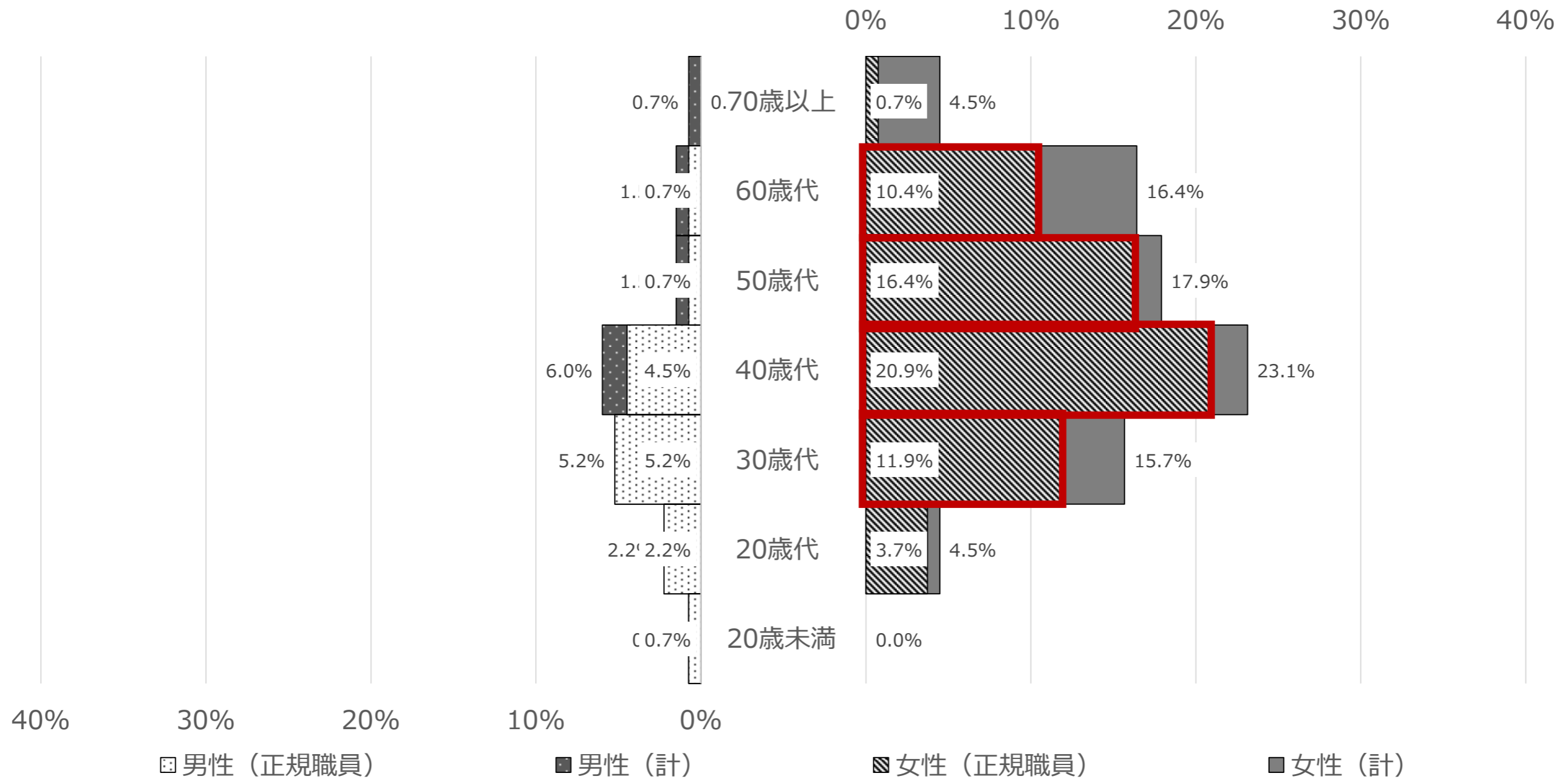
性別・年齢別の雇用形態の構成比（訪問系、n=101）



訪問系では、50～70歳代・女性の非正規が多い

（注）分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

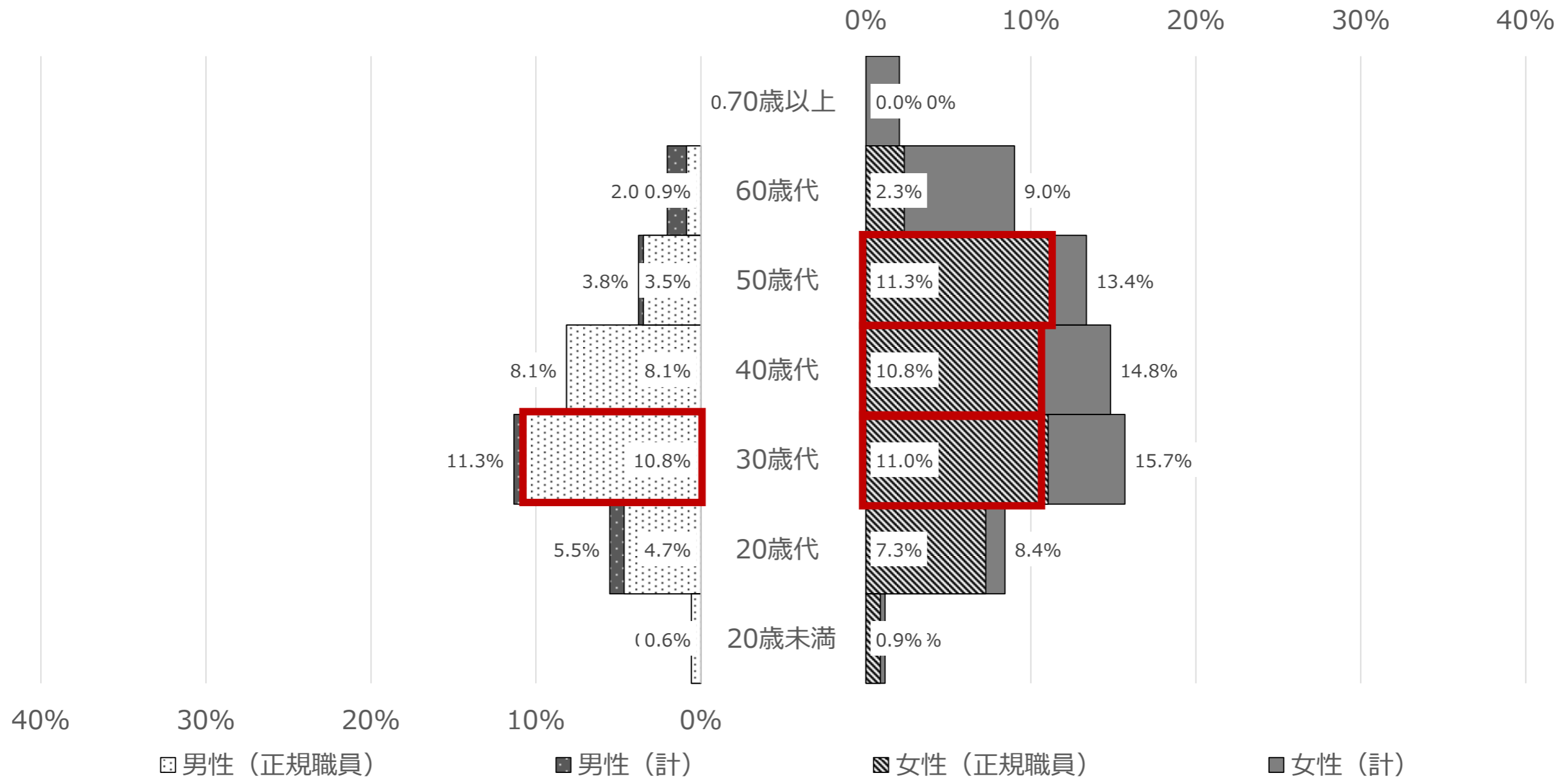
性別・年齢別の雇用形態の構成比（通所系、n=134）



通所系では、30～60歳代・女性の正規が多い

(注) 分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

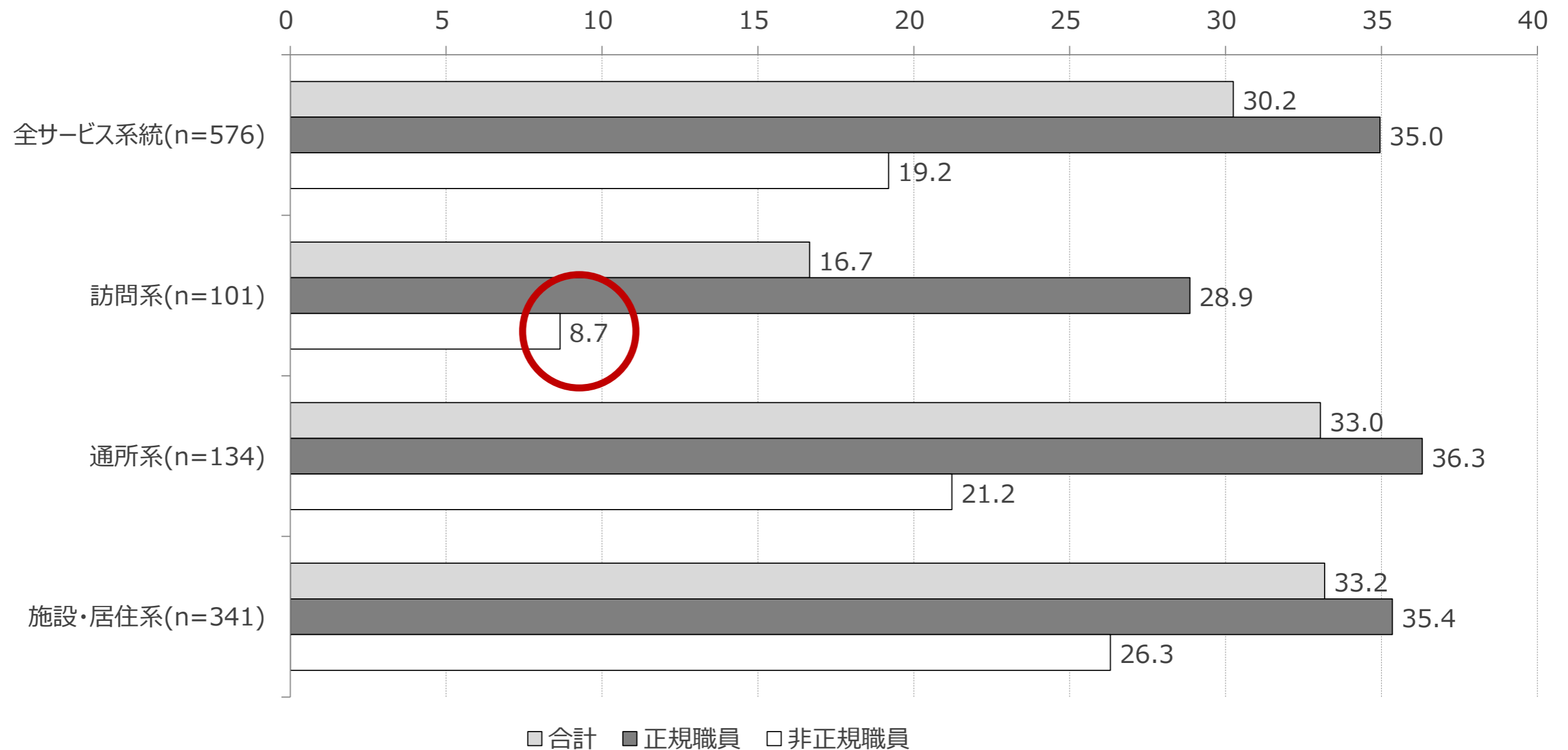
性別・年齢別の雇用形態の構成比（施設・居住系、n=344）



施設・居住系では、30～50歳代・女性の正規、30歳代・男性の正規が多い

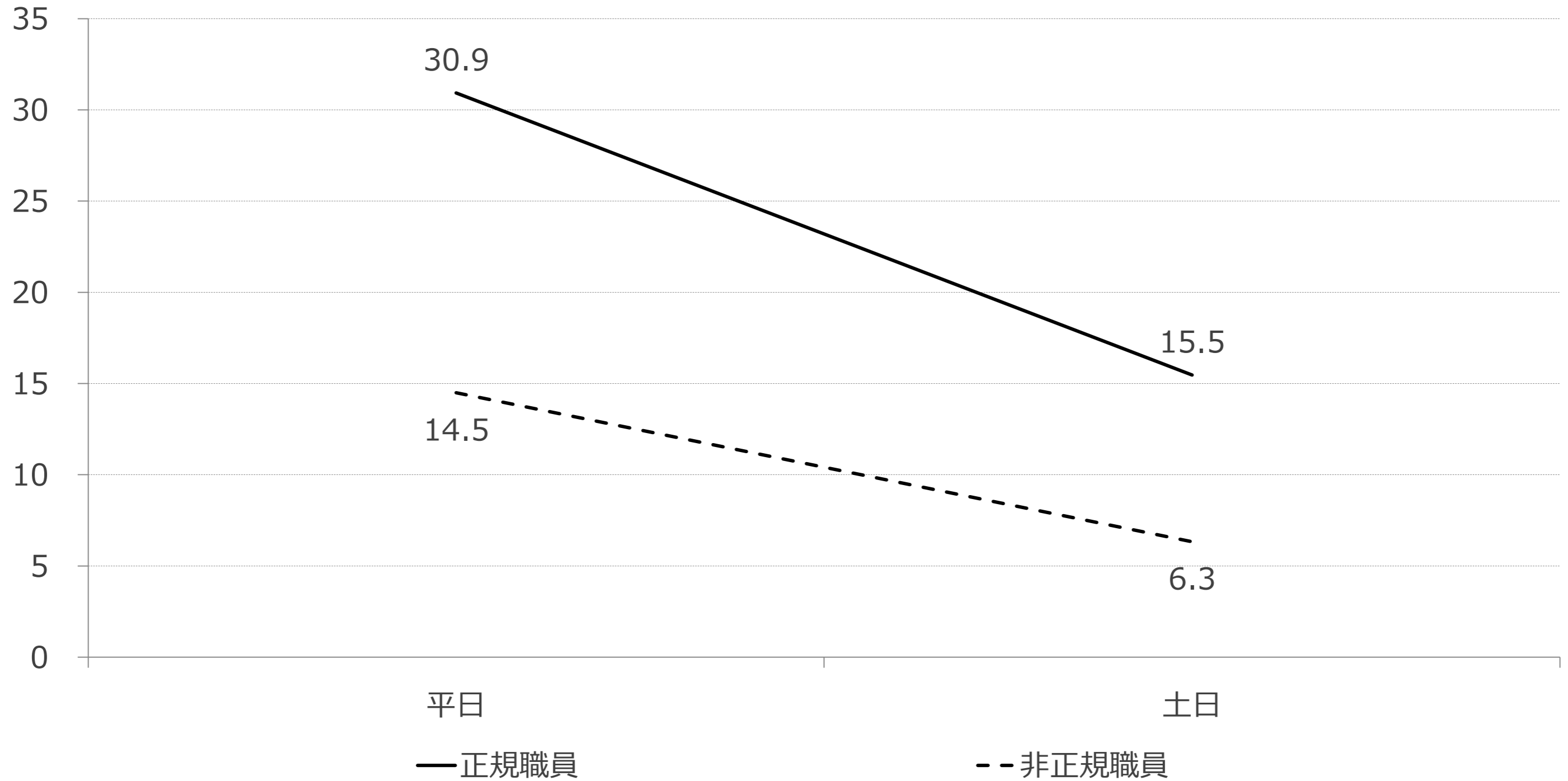
（注）分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

職員1人あたりの1週間の勤務時間（単位：時間）



(注) 「合計」には雇用形態不詳の方を含めています。また、「全サービス系統」にはサービス系統不詳の方を含めています。

平日・土日別の職員1人・1日あたり 訪問介護サービス提供時間（身体介護、単位：分）



介護職員数の変化

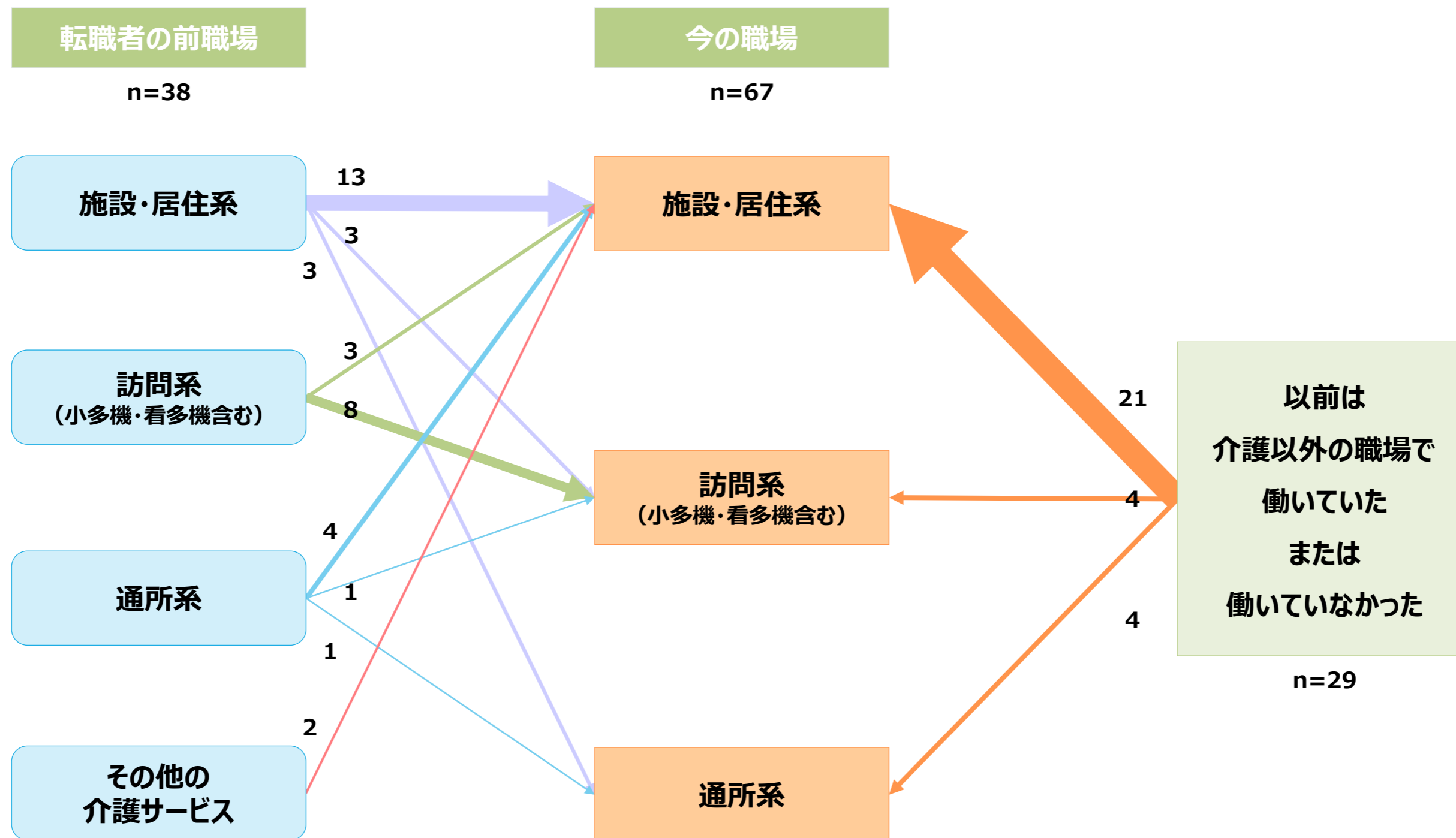
サービス系統 (該当事業所数)	職員総数			採用者数			離職者数			昨年比		
	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計
全サービス系統(n=40)	423人	174人	597人	66人	47人	113人	66人	41人	107人	100.0%	103.6%	101.0%
訪問系(n=9)	56人	63人	119人	10人	9人	19人	7人	9人	16人	105.7%	100.0%	102.6%
通所系(n=16)	105人	29人	134人	16人	6人	22人	16人	6人	22人	100.0%	100.0%	100.0%
施設・居住系(n=15)	262人	82人	344人	40人	32人	72人	43人	26人	69人	98.9%	107.9%	100.9%

前の職場が介護事業所である職員の前の職場の場所

前の職場の場所	現在の職場							
	全サービス系統		訪問系		通所系		施設・居住系	
合計	52人	100.0%	14人	100.0%	4人	100.0%	34人	100.0%
同一市区町村	21人	40.4%	10人	71.4%	0人	0.0%	11人	32.4%
他の市区町村	29人	55.8%	2人	14.3%	4人	100.0%	23人	67.6%

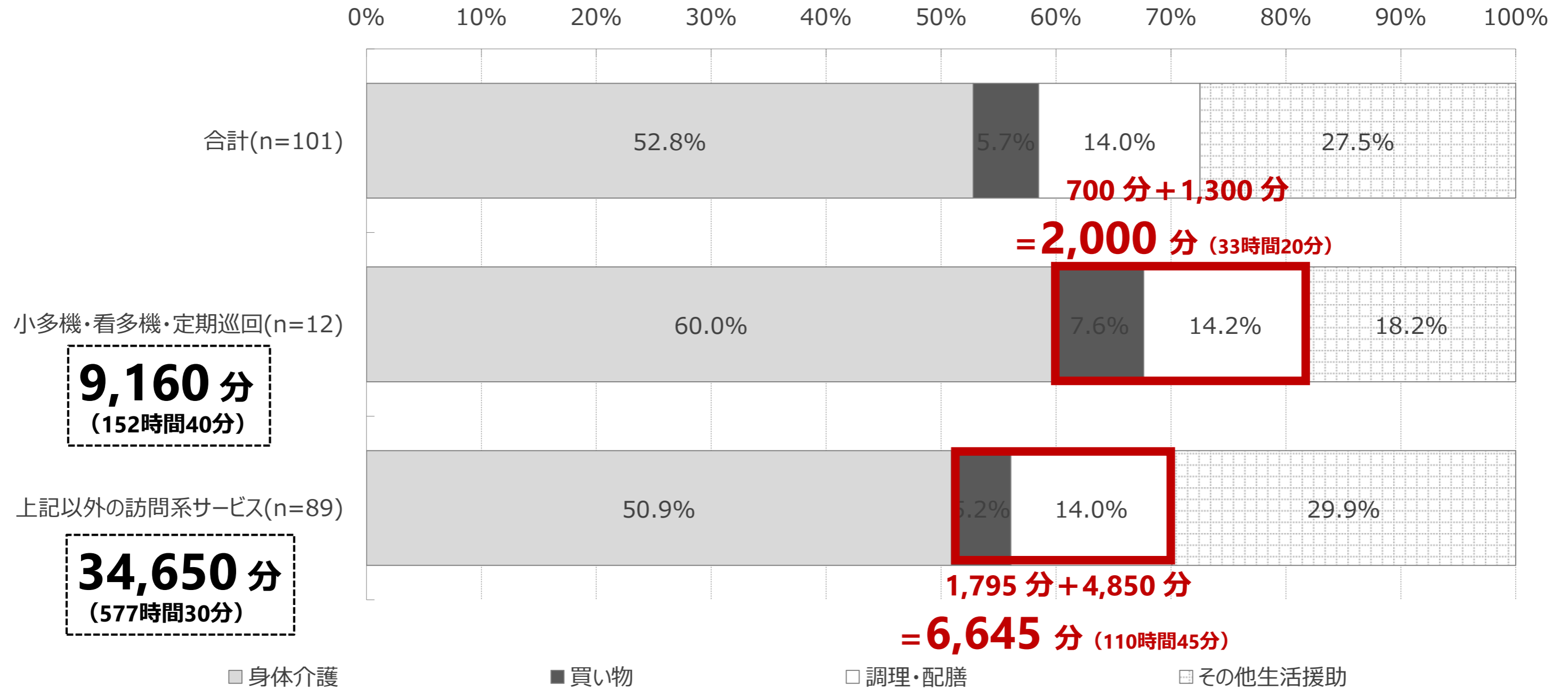
(注) 上表・下表の「全サービス系統」にはサービス系統不詳の事業所を含めています。また、下表の「合計」には前の職場の場所が不詳の方を含めています。

過去1年間の介護職員の職場の変化 (同一法人・グループ内での異動は除く)



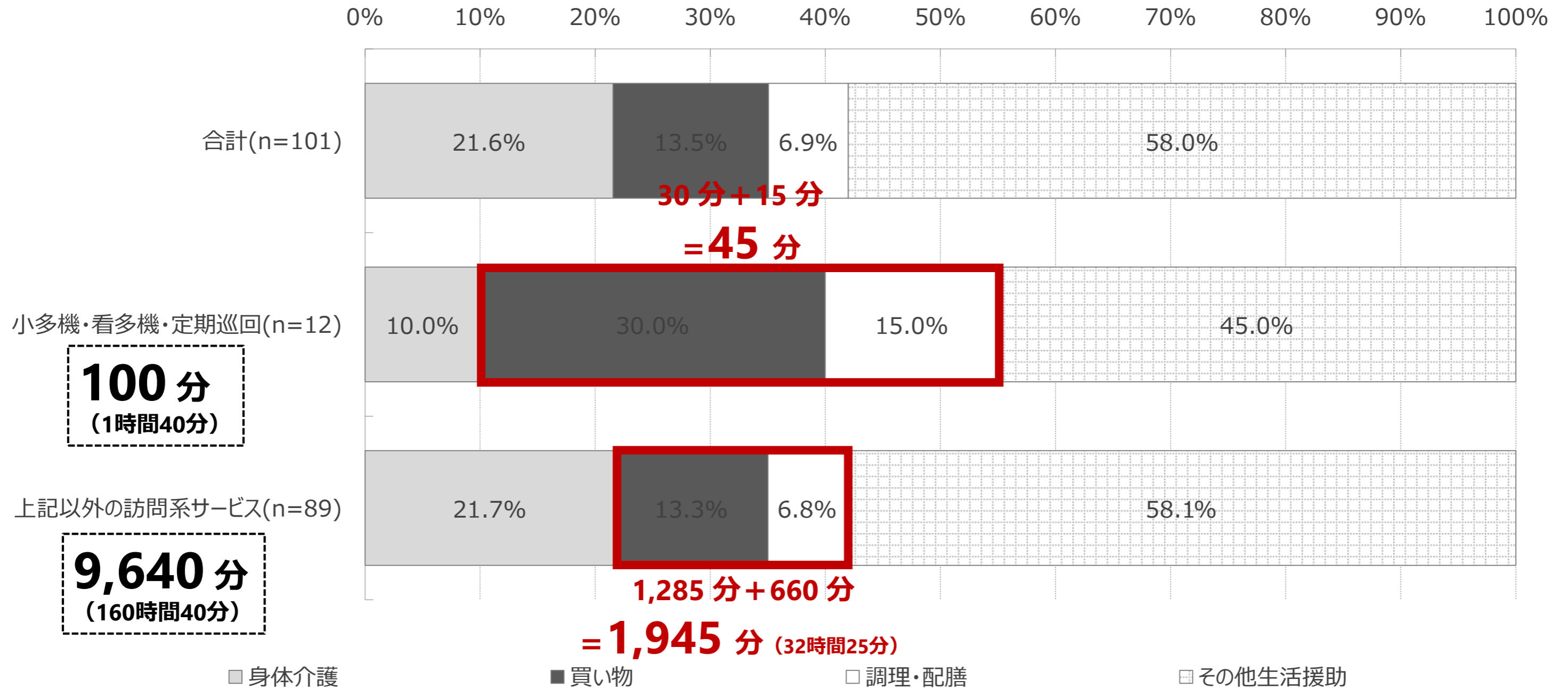
(注) 上記の分類が可能となる全ての設問に回答のあった方のみを集計対象としています。

訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳（介護給付）



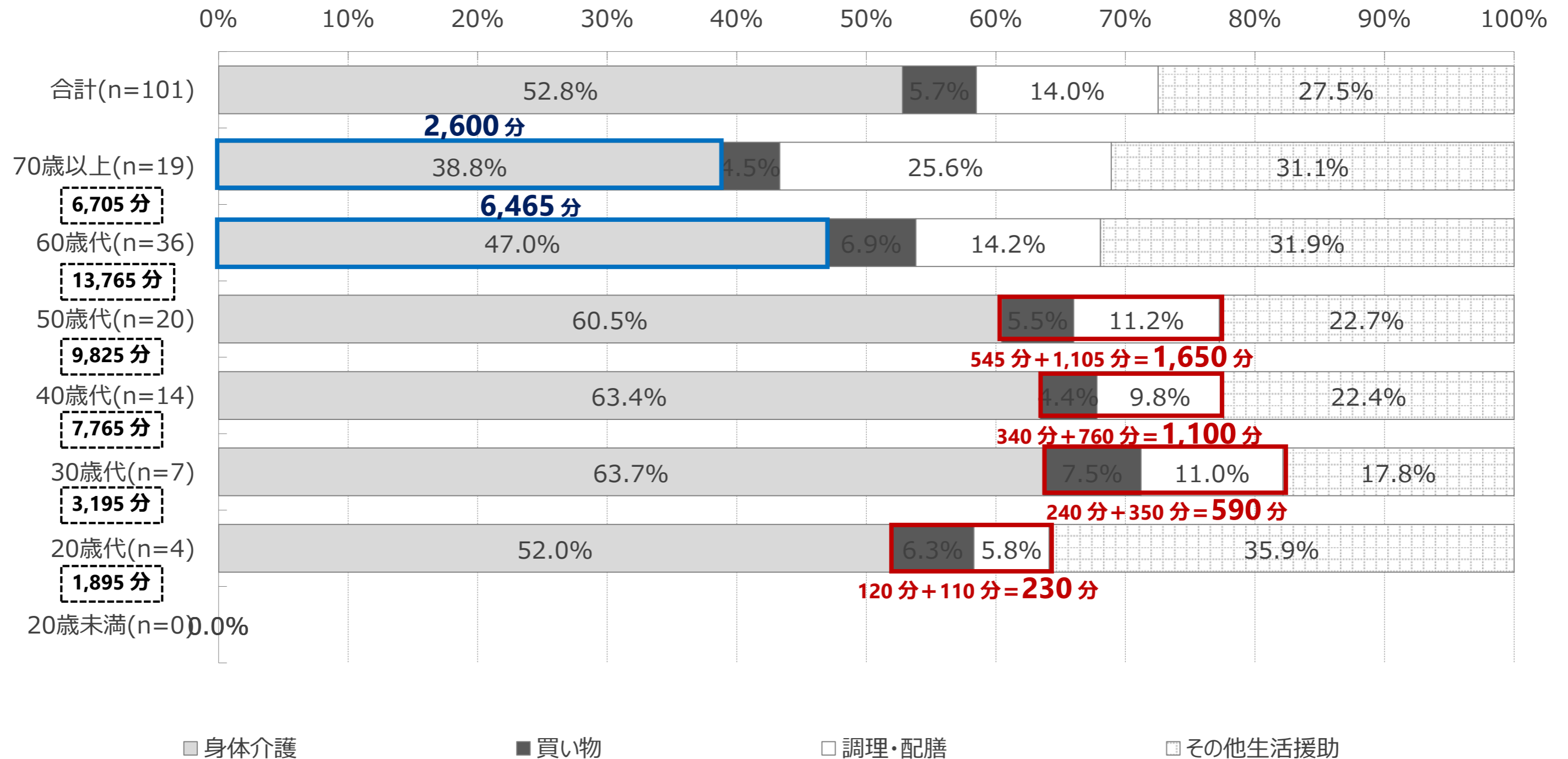
(注1) 総提供時間に占める各サービス提供時間の構成比を示しています。
 (注2) 「合計」にはサービス種別不詳の方を含めています。

訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳（予防給付・総合事業）



(注1) 総提供時間に占める各サービス提供時間の構成比を示しています。
 (注2) 「合計」にはサービス種別不詳の方を含めています。

訪問介護員の年齢別のサービス提供時間の内容別の内訳（介護給付）



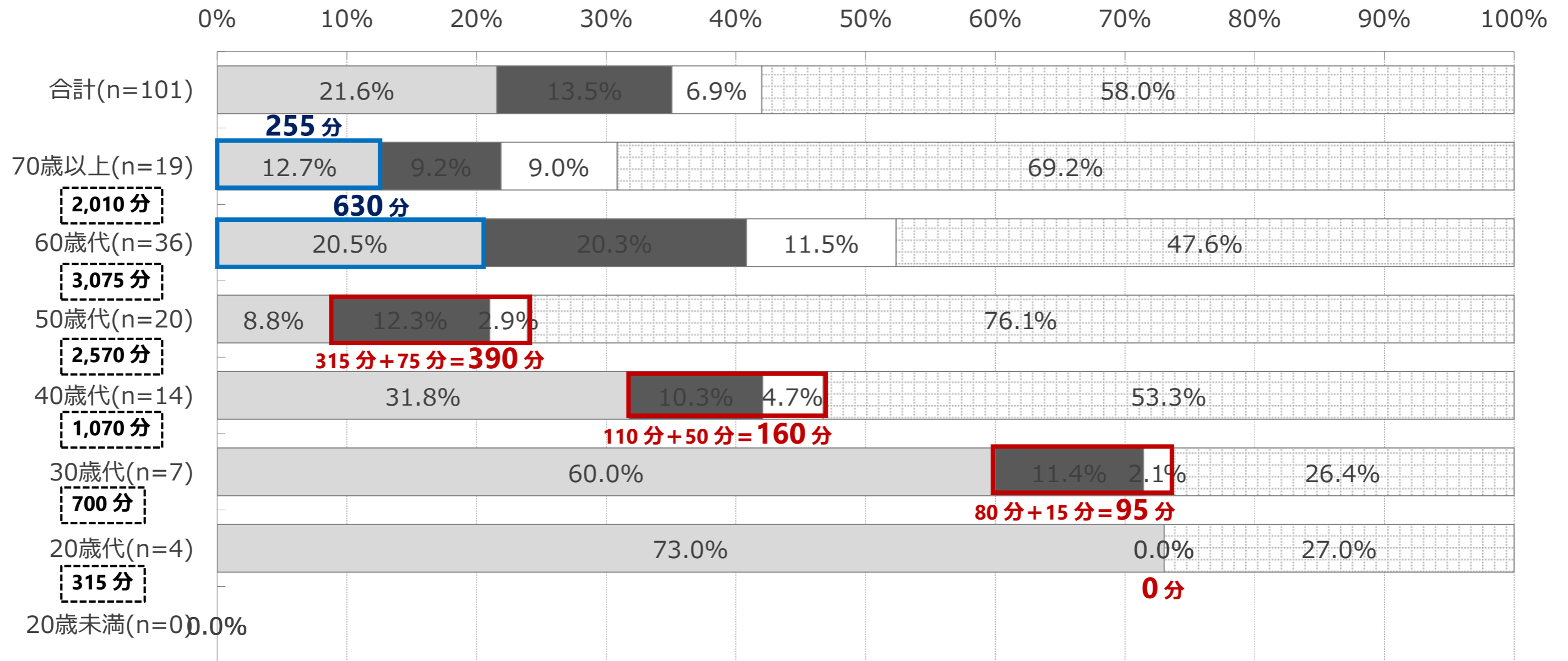
 ・ ・ 合計 **9,065** (151時間5分) 分の「**身体介護**」を10年後、誰が担うのか？

 ・ ・ 合計 **3,570** (59時間30分) 分の「**買い物、調理・配膳**」を外に切り出すことは可能か？

(注1) 総提供時間に占める各サービス提供時間の構成比を示しています。

(注2) 「合計」には年齢不詳の方を含めています。

訪問介護員の年齢別のサービス提供時間の内容別の内訳（予防給付・総合事業）



身体介護
 買い物
 調理・配膳
 その他生活援助

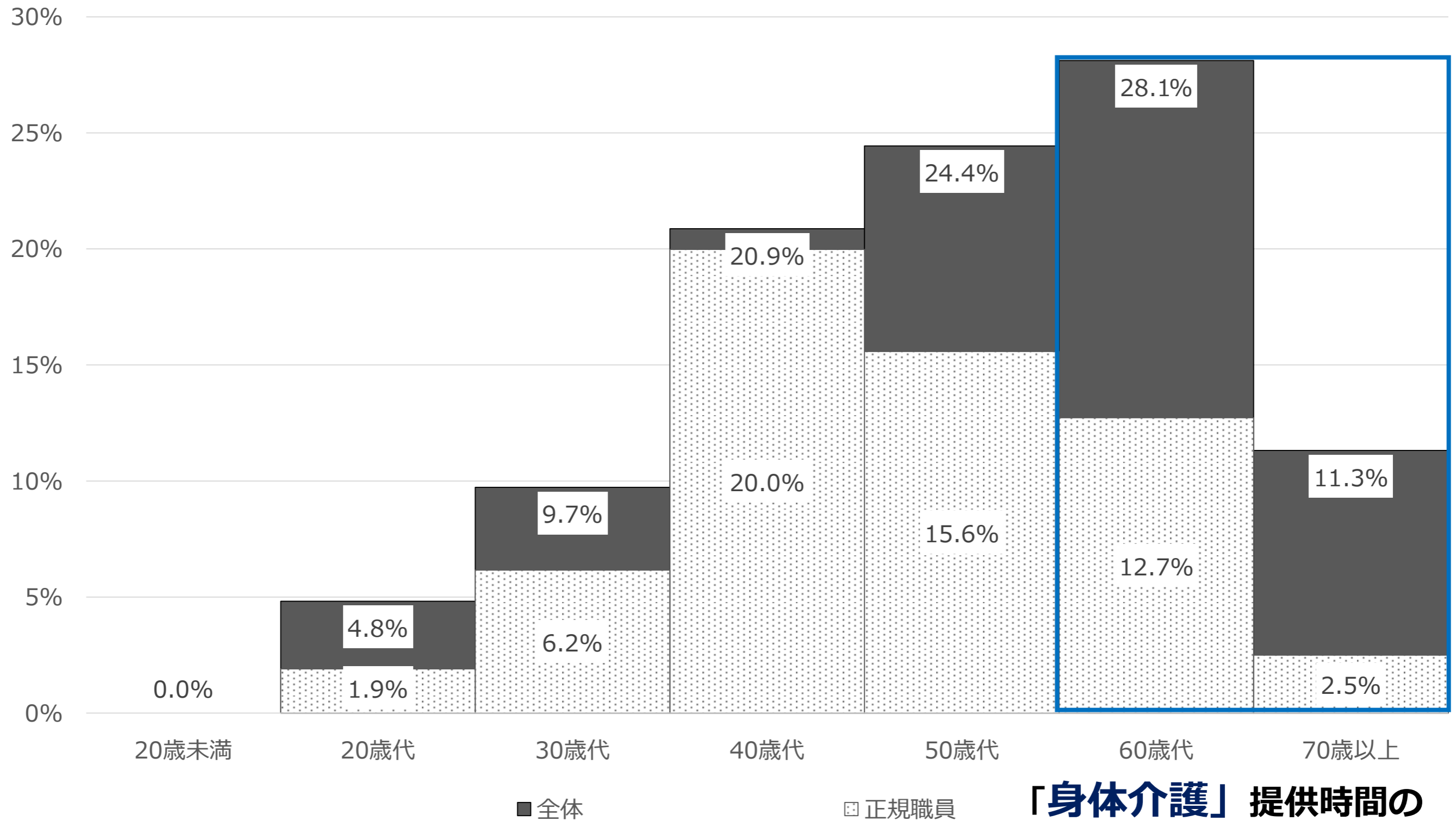
□
 ・ ・ 合計 **885** (14時間45分) 分の「**身体介護**」を10年後、誰が担うのか？

□
 ・ ・ 合計 **645** (10時間45分) 分の「**買い物、調理・配膳**」を外に切り出すことは可能か？

(注1) 総提供時間に占める各サービス提供時間の構成比を示しています。

(注2) 「合計」には年齢不詳の方を含めています。

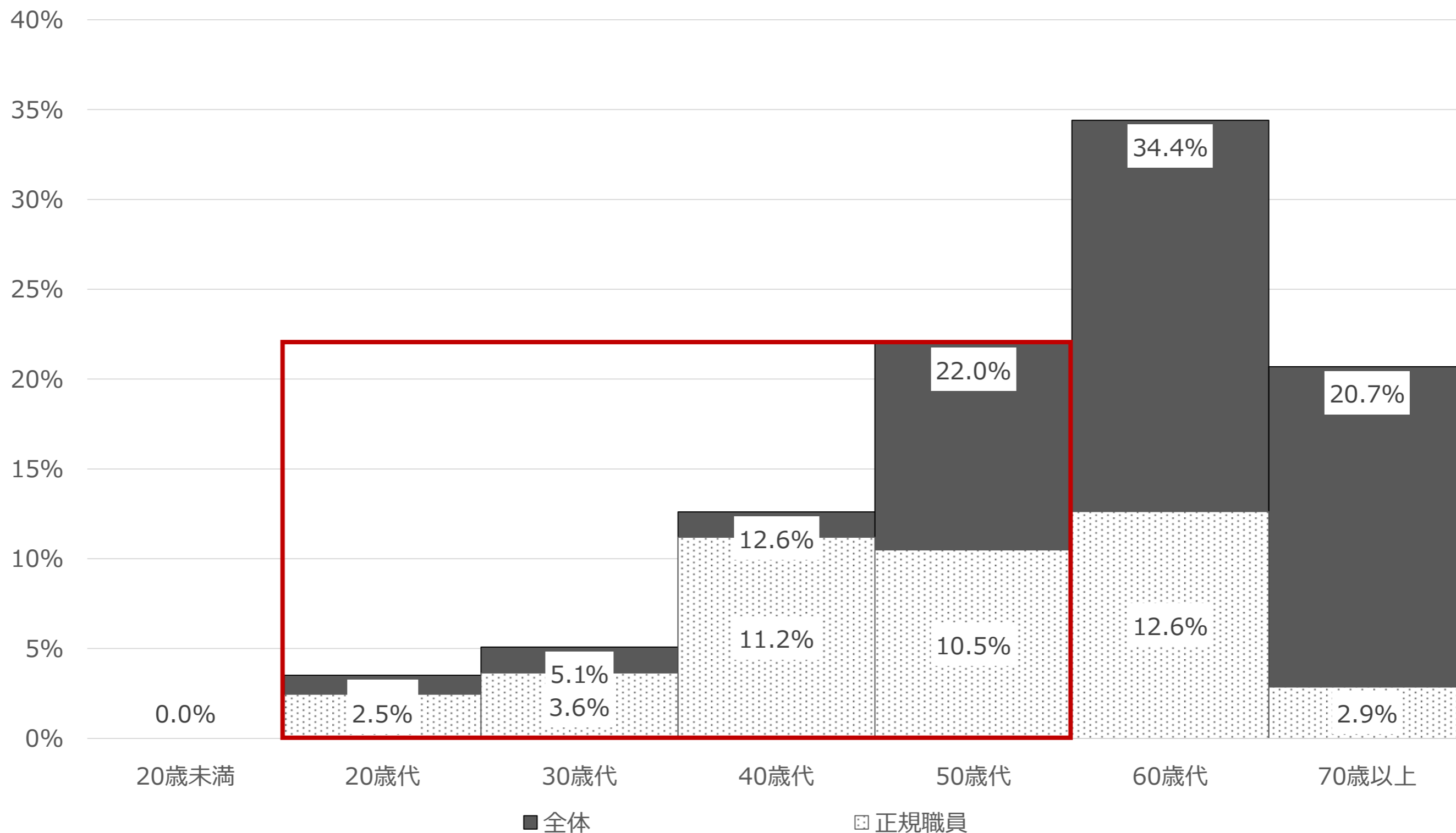
職員の年齢別の訪問介護提供時間（身体介護）



**「身体介護」提供時間の
約40%を60歳以上が担っている**

(注) 全回答者の総提供時間に占める年齢階級ごとの提供時間の構成比を示しています。

職員の年齢別の訪問介護提供時間（生活援助）



「生活援助」提供時間の
約**45%**を20～50歳代が担っている

(注) 全回答者の総提供時間に占める年齢階級ごとの提供時間の構成比を示しています。

介護人材実態調査結果のポイント①

■ サービス系統別の資格保有の状況

サービス全体での介護福祉士資格保有率は58.7%

内訳：施設・居住系が64.8%と高く、訪問系及び通所系が約50%

■ 年齢別の資格保有の状況

介護福祉士資格保有率は30歳代で最も多く、40、50歳代の順

内訳：30歳代 78.1% 40歳代 66.7% 50歳代 58.1%

■ サービス系統別の正規職員・非正規職員の割合

サービス全体での割合は、正規職員70.3%、非正規職員29.7%

訪問系サービスの非正規職員割合が高い（非正規職員割合：60.4%）

介護人材実態調査結果のポイント②

- **性別・年齢別の雇用形態構成比（全サービス系統合計）**
 - 男性の年齢構成は30歳代が最も高く、40歳代、20歳代の順
 - 雇用形態は正規職員の割合が高い
 - 女性の年齢構成は40歳代が最も高く、50歳代、60歳代、30歳代の順
 - 雇用形態は30-50歳代では正規職員割合が高いが、60歳代は非正規職員の割合が高い
- **性別・年齢別の雇用形態構成比（訪問系）**
 - ほとんどが女性の40-70歳代で構成されている
 - 女性の非正規職員割合が高い
- **性別・年齢別の雇用形態構成比（通所系）**
 - ほとんどが女性の30-60歳代で構成されている
 - 女性の正規職員割合が高い

介護人材実態調査結果のポイント③

- 性別・年齢別の雇用形態構成比（施設・居住系）
 - 男性の年齢構成は30歳代が最も高く、40歳代、20歳代の順
 - 雇用形態は正規職員の割合が高い
 - 女性の年齢構成は30歳代が最も高く、40歳代、50歳代、60歳代の順
 - 雇用形態は20-50歳代では正規職員割合が高く、60-70歳代は非正規職員の割合が高い
- 訪問介護のサービス提供時間における内容別の内訳
 - 生活援助にあたる「**買い物、調理・配膳**」を抽出
- 訪問介護員の年齢別サービス提供時間における内容別の内訳
 - 60-70歳代により提供されている「**身体介護**」の10年後の担い手は生活援助にあたる「**買い物、調理・配膳**」の外への切り出しは

介護人材実態調査結果のポイント④

■ 職員年齢別の訪問介護提供時間（身体介護）

「身体介護」 提供時間の約40%を60歳代以上が担っている

■ 職員年齢別の訪問介護提供時間（生活援助）

「生活援助」 提供時間の約45%を20-50歳代が担っている

介護人材実態調査結果の活用について（検討中）

■ 南国市の介護人材の実態について事業者と共有、協議

- ・ 性別・年齢別の雇用形態について（サービス系統別）
- ・ 訪問介護のサービス提供時間における生活援助の内容について
- ・ 訪問介護員の年齢別サービス提供時間における内容について

→ 「**身体介護**」提供時間の約40%が60歳以上の訪問介護員により担われているが、10年後の担い手についてどう考えるか

「**生活援助**」提供時間の約45%を20-50歳代が担っているがこのままでよいのか。例えば、「**生活援助**」は外へ切り出し（別のサービスで代替）、20-50歳代の訪問介護員に将来的に需要が増加する「**身体介護**」を担ってもらう等

■ 後発3サービス（小多機・看多機・定期巡回）の整備について 地域の在宅高齢者を支える介護資源